

高台だより

手をつなごう 高台自治会で!

高台自治会

“ふれあい都市長岡京”
 高台地区市民運動実践協議会
 発行責任者 畑 健 二
 編集担当者 山 本 律
 江 川 学
 No.262 08年8月25日
<http://www.taka-dai.com/>

第46回 市民大運動会のプログラム、出場希望者の募集要項は2面に掲載

目 録	開始時間	目 録	開始時間
地蔵盆お供え・賽銭提供者芳名		敬称略 順不同	08:30
高山三喜男 野々下國男 上田美代子 中島正裕 山内静雄 栞原千秋 小倉佐助			08:35
塩見英一 中道康隆 畑健二 田尻元治郎 伊藤嘉男 原田誠 寺田孚			10:30
小笹孝 難波安範 高井武 矢野貢 小島勳 簗部敏朗 矢本吉男 吉田欣之介			10:35
西河千恵子 山本律 三宅正枝 福本啓 山中繁 海野文隆 竹林敏孝 石見隆			11:30
大前良一 前田みえ子 村中和之 中井英治 丸橋道之 大久保一彦 三原重徳			11:35
森田邦夫 今村房治 中田利享 川内宏雅 藤井隆三 萬秋一郎 林栄一 小川憲雄			12:15
田窪武夫 北尾均 紺谷修一 西村本成			
金ヶ原自治会 湯川酒店		以上51名	
--- 会員の異動 ---			
・訃報	新井 喜美枝 様	[8B]3-1-10	7月6日逝去 享年89歳

高台だより

(特集号)

高台自治会

発行責任者 畑 健二

編集責任者 山中 繁

No. 263

08年8月28日

高台3号公園周辺山(下海寺西山田)の宅地開発

「株式会社 大高」より提案説明

高台地域周辺の宅地開発が続いています。今回は、「さくら会館」川向い側の宅地開発計画(案)が7月28日に業者(株式会社大高)から自治会、近隣者等に対し行われた説明の概要とそこで浮き彫りになった問題点をお示しします。

ここで見えて来た諸問題点を「高台住民全体の問題」として捉え、対策を講じたいと思います。その対策会議を末尾記載のとおり9月5日(金)に行いますので、近隣・役員・関心のある方・アドバイスをいただける方々などで、高台の全知・全力を挙げて取り組みたくよろしくお願いします。

(説明概要)

開発会社	株式会社 大高
開発面積	7,150㎡
建設予定戸数	34~35戸
1戸当たり最低面積	125㎡
公園に提供面積	326.61㎡



道路

第4中学校正門より約10m西側が出入り口、南へ高台集会所近くまで中央道路(幅6m)を造りその道路の両側に住宅を建設する。突き当たりに12mのUターン道路を造る。

第4中学校前の出入り口の高さから、南端に向かって6m高くなるように傾斜をつける。

擁護壁

中央道路より西側の宅地は、七つ谷川左岸の頂点地盤から13mの垂直擁護壁(3号公園の地盤から9.6m)。また、中央道路の東側は、さらに3mの掘込み式ガレージを設置し、その上に2階建住宅を建設する。さらに、山の崩れを支えるために5.75mのブロック積み擁護壁を造る。

公園の北側は、公園地盤から6.65mのコンクリート垂直擁護壁を造り、その上に2階建住宅を建設する。

七つ谷川の暗渠(あんきょ)(トンネル)化

公園横の七つ谷川を暗渠にしたい。この川の上の面積は公園に使用してよい。ただし、住民が暗渠に反対なら考慮する。

避難経路 公園に通じる階段を2カ所に設ける。

地質調査 まだ調査していない。

(説明会で出された質問・意見)

環境破壊について

1. 高台周辺は緑の多い良好な環境である。
2. 今、地球温暖化による環境破壊が心配されている中で、貴社は、向イ山をはじめ、高台4号公園の南側の山も大規模開発されるようだが、企業の利益追求のみになっていないか。
①環境破壊 ②、高台住民の環境保護 ③買い手の安全 をどう考えているのか
3. 周辺住民は、今の眺望、風通しなどにひかれて住んでいるが、高い擁護壁による圧迫感や夏季における西日の照り返しによる暑さ、風通しの阻害などで住環境が著しく悪化する。
4. 公園や集会所も同様の被害をもたらすでしょう。

1.3mと6mの擁護壁の建設について

1. 公園が高いコンクリート壁と住宅(約20m)に囲まれるので、風の流れが阻止され、空気が滞留するので子どもの遊び場としても弊害が出る。周辺住宅や集会所も同様である。
2. 圧迫感があまりにも大きい。
3. 宅地内道路を第4中学校前道路の高さにすれば、擁護壁は6m下げることができる。
4. この擁護壁が完成すれば、さらに同様の開発(環境破壊)が延長されるのではないか。

七つ谷川の暗渠化について

1. 川をトンネルにすると蛍が絶滅する。
2. 高台4号公園の南面(長岡京市と大山崎町)に巨大な宅地開発を予定されているようだが、その雨水も一気に流入する。
また、芦原池の上流は、土石流の危険性があると警告されており、その下流が七つ谷川である。最近の異常気象による集中豪雨で、大量の水が流入すると三側面の摩擦により、流速が遅くなるので水害の危険性がある。
暗渠の入り口で土砂や流木による阻害により、周辺住宅や集会所などに被害が及ぶ恐れがある。
3. 緑と風が失われ、水のせせらぎが無くなるという環境破壊になる。

安全性について

1. 山は粘土質であり地盤が軟弱である。地震の活断層が近くにあり崩れる危険性があり、開発地の住民や公園で遊ぶ子どもたちに被害が及ぶことを懸念する。
2. 第4中学校の通学路であり、冬場の道路凍結による車との事故を懸念する。

3号公園周辺(西山田)宅地開発計画について

対策検討会のご案内

主催 高台自治会

上記対策検討会を下記のとおり開催します。高台住民はどなたでも参加できます。

日時 08年9月5日(金) 午後7時~9時

会場 さくら会館(高台3号公園内)

議題 1. 宅地開発計画の質疑応答

2. 計画の問題点と要求について